

## I 学校経営

### 1 重点目標

- (1) 安全・安心な学校（物理的・心理的な安全・安心な環境整備）
- (2) 保護者・地域との総合協力による教育力の向上
- (3) 入学志願者数の確保

### 2 自己評価

#### (1) 安全・安心な学校

施設・設備の管理保全のため、安全点検を定期的実施するとともに、避難訓練や講演会を実施し、生徒の危険予知能力、危機回避能力の育成に努めた。

「本校生徒は、身の周りにある危険に注意をはらって生活している」と回答した職員の割合は20%を下回っているが、生徒、保護者の割合はそれぞれ、66.0%、73.4%となっており、職員と生徒、保護者の感じ方に大きな開きがみられる。昨年度も同様の傾向があり、昨年度の学校関係者評価では「職員が生徒のことをよくみて、指導しているからこそ、このような数値がでてくるのでは。」との意見をいただいた。

「本校は、校内の環境美化に取り組んでいる」と回答した職員、保護者の割合は、それぞれ、93.5%、76.5%であり、「環境美化活動に熱心に取り組んでいる」と回答した生徒は35.6%である。

#### (2) 学校行事、部活動

「生徒は、学校行事に積極的に参加している」と回答した職員、保護者の割合はそれぞれ、70.9%、85.1%である。職員については、昨年度と比較すると30.9ポイント増加している。確かに、今年度の文化祭や体育祭等の生徒の活動状況はとてすばらしいものであった。「学校行事が楽しい」と回答した生徒の割合は56.4%にとどまっている。

「子どもを松戸向陽高校に入学させてよかった」と回答した保護者の割合は、昨年度より1ポイント減少し81.9%であり、「入学してよかった」と回答した生徒の割合は、4ポイント増加し61.8%であった。学科別にみると、入学させてよかったと回答した普通科保護者の割合は78.3%、福祉教養科は95.9%、また、入学してよかったと回答した普通科生徒の割合は60.1%、福祉教養科71.1%という結果である。目的をもって入学した福祉教養科生徒、保護者の方が、普通科に比べ高い数値となっている。「生徒は、生き生きと学校生活を送っている」と回答した職員の割合は64.0%であった。

統合して部活動にも活気が出始め、試合等でも実績を残す部活動もでてきているが、「本校の部活動は活発である」と回答した職員の割合は24.2%であり、決して高い数値とはいえない。「生徒は、部活動に充実感を感じている」と回答した職員の割合は、昨年度より7.1ポイント減少し48.3%、保護者については、8.7ポイント増加し44.1%であった。生徒については、35.6ポイント増加し63.9%であったが、この問いの対象を部活動に加入した者に限定したため、このようなことが起こったものである。

#### (3) 情報発信

保護者、地域住民、受験生等に学校のようなすを知らせるため、行事や学校の出来事等を、ホームページに掲載し、毎日更新することを心がけた。また、校長の考えを伝える校長ブログでも、積極的に情報発信に努めている。「本校は、学校の情報を保護者に積極的に伝えている」と回答した職員、保護者の割合はそれぞれ、96.7%、71.7%であり、職員については、昨年度より14.5ポイント増加している。

保護者向け。地域向けに、学期にそれぞれ4回程度、学校だよりを発行した。地域向け学校だよりは、町会長宅に届け、そこから各家へ配付していただいている。

管理職が、地域の行事や地区中学校長会等に積極的に参加し、教育実践の周知を図った。

#### (4) プリント等の配付・回収

「学校からもらったプリントをいつも保護者に渡している」と回答した生徒の割合が50%を下回っている。配付したプリント等は、ホームページに掲載し、ダウンロード可能な状態にしてある。昨年度の学校評価（保護者用アンケート）の回収率は約78%であったが、今年度は15ポイント減少し、62.3%であった（1学年52.5%、2学年68.7%、3学年66.9%）。プリント等を保護者にしっかりと渡すこと、また、提出すべきものは、生徒にしっかりと提出させることを実現させたい。

「学校評価は学校長あて封筒などでの返却がよいのでは。」というご意見もいただいているので、平成25年度の保護者用アンケートの取り方については検討したい。

## (5) 研修の充実

不祥事防止に向け、モラルアップ委員会を活性化し、職員参加型の研修会を実施した。また、教育相談や学校評価、情報セキュリティ等の内容を扱った研修会を実施するなど、校内研修会は充実している。職員は皆、前向きに取り組んでいる。

- 5月14日(月) 先生と生徒の距離(若手職員)
- 5月23日(水) 千葉県暴力団排除条例に基づく青少年健全育成の措置
- 6月13日(水) パソコン研修会(若手職員)
- 7月6日(金) 学習指導について
- 10月1日(月) 不祥事防止に向けて
- 10月25日(木) 教育相談
- 11月27日(火) 情報セキュリティ
- 12月10日(月) 学校評価

## (6) PTA活動

PTA活動にサポーター制度を導入したことにより、PTA役員、理事以外の保護者が、学校行事に参加していただけるようになり、PTA活動が活性化した。「サポーター制度の導入」というテーマで、松戸地区PTA研究大会で発表した。

### (保護者の感想)

- ・生徒たち一人一人の意識ももちろんですが、「向陽に入学して本当によかった」と思えるような3年間を危険なく、楽しく学校生活を送れるよう、ご指導をこれからもお願いします。日々の教育、生徒指導等、ほんとうにご苦労様です。(1年)
- ・幼・小・中学校の先生方よりも、子どものことを親身に考えていただける気がします。先生方に感謝しております。問題が起きたときも、校長先生をはじめ、心づかいをしていただいて、親としては向陽高校に入学させてよかったと思います。(2年)
- ・子どもの不満をよく聞きます。希望を持って入学し半年が過ぎ、学校生活にも慣れてきてよいはずですが、そのような感じではなさそうです。いろいろな生徒がいる中、先生方も大変でしょうが、普通のことができる学校生活を送れる環境であってほしいです。子どもには、がんばれの一言です。(1年)
- ・学校評価は担任の先生の日にも触れないよう、学校長あて封筒などでの返却がよいのではないのでしょうか。(2年)
- ・自然災害時の学校からの緊急メールが届くのが遅い。(2年)
- ・部活動100%加入をお願いしたいと思います。顧問の先生を始め、人との関わりを大切にしてほしいです。文化部でも運動部でも、入学時に1つ以上加入。自分から進んで加入できない子も加入でき、高校生活に発展があるように、楽しい高校生活を送ってほしいです。(1年)
- ・文化祭の規制が厳しく、あまり楽しさを感じませんでした。(2年)
- ・文化祭を一般公開してほしいと思います。(2年)
- ・高校に合唱祭があるといいですね。歌を聴くこと、歌うことの好きな年頃でもありますので、合唱曲をとおして、心が洗われるような経験をさせるのは、大事なことだと思います。皆で歌う歌は、将来、その時代を思い出させてくれますから。(2年)
- ・校長先生のブログは、セキュリティブロックをかけている我が家のパソコンではみることができません。ホームページの中に移動できませんか。(3年)
- ・冷暖房を充実させてほしい。(2年)

## II 学習指導

### 1 重点目標

- (1) 実態に即した基礎基本の学力の定着と向上
- (2) 保護者・地域との相互協力による教育力の向上

### 2 自己評価

#### (1) 学び直し

普通科1年次の、英語、数学及び地理Aで学び直しを取り入れている。また、総合的な学習の時間にマナトレを導入している。やったらできたという手応えを感じさせるとともに、机に向かって集中し、自学自習の姿勢をみにつけることを目的としている。今後も、各教科での学び直しの状況を職員が共有し、本校における学び直しの位置づけの共通理解を図っていく。

#### (2) 少人数指導、TT

多くの科目で少人数指導やTTを導入している。今後も教室の数や職員の人数の許す限り、授業形態を工夫し、生徒にとってわかる授業を展開していく。

### (3) 授業力の向上

授業練磨の公開日【授業公開（5月12日（土））、公開LHR（11月7日（水））、授業練磨の公開日（11月30日（金））】、東部地区小中学校との連携等により、授業をみせあう体制・環境づくりに努めた。初任者研修、5年経験者研修とも絡めながら、各教科で研究授業を実施し、授業力の向上を図った。

「生徒は、授業に意欲的に取り組んでいる」と回答した職員の割合は、昨年度より11.3ポイント増加し37.7%となった。しかし、生徒は59.7%、保護者は69.2%であり、職員と、生徒、保護者の感じ方に開きがみられる。普通科、福祉教養科と比較すると、意欲的に取り組んでいると回答した割合は、生徒、保護者とも、福祉教養科が普通科を約15ポイント上回っている。

「学習習慣が身につく」と回答した割合は、昨年度と比べ、職員は14.1ポイント、生徒は2.3ポイント、保護者は6.3ポイント増加し、それぞれ、17.7%、32.6%、45.0%という結果である。いずれも高い数値とはいえないが、職員と生徒、保護者の感じ方に開きがみられる。学科別にみると、学習習慣が身につく」と回答した普通科生徒の割合は31.0%、福祉教養科生徒は36.0、また普通科保護者は41.2%、福祉教養科保護者は59.0%となっている。

「学力は向上しつつある」と回答した職員の割合は、昨年度より17.6ポイント増加し46.7%であり、生徒、保護者はそれぞれ、40.7%、52.1%であった。学科別にみると、普通科と福祉教養科で、生徒の割合はほとんど差はないが、学力が向上しつつあると回答した福祉教養科保護者の割合が普通科の保護者を約10ポイント上回っている。

「本校の職員は、教材や指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている」と回答した職員の割合は95.1%であるが、保護者は68.1%、生徒は42.2%であり、職員、生徒、保護者で感じ方に開きがみられる。わかりやすい授業を行っている」と回答した普通科保護者は64.2%、福祉教養科保護者は83.5%となっている。

生徒用アンケートの18～20は、今年度新設した問いである。「板書された文字は読みやすい」と回答した生徒は51.1%、「先生の声は聞きやすく、話のスピードは適切である」は52.1%、「説明内容は理解しやすい」は42.4%である。本来、この問いは、このようにまとめて聞くべきものではなく、教科ごとに聞くべきものとする。今後、授業評価アンケートの在り方について検討したい。

#### (保護者の意見)

- ・友達がたくさんでき、毎日楽しく登校しています。学び直しを取り入れていただいていることに感謝しています。中学でできなかったことができるようになりました。行事をもっと増やして欲しいと思います。(1年)
- ・授業後に質問に行くと、生徒にあった説明をしてくれないという話を何度か聞いたことがある。(3年)

### III 生徒指導

#### 1 重点目標

- (1) 生徒指導の充実（気にかける、声をかける、手間をかける。）
- (2) 保護者・地域との相互協力による教育力の向上

#### 2 自己評価

##### (1) 頭髪・服装等の指導

登下校時やホームルーム、授業時に整容（頭髪・服装）指導、遅刻指導、交通安全指導を行うとともに、ルール・マナーを守る指導を行った。

「本校は、ルール・マナーを守る指導をしっかりと行っている」と回答した職員の割合は88.7%、保護者は73.0%である。また、「ルール・マナーを守るよう心がけている」と回答した生徒は79.0%である。

「本校は、整容指導をしっかりと行っている」と回答した職員の割合は、昨年度に比べ、7.8ポイント増加し、92.0%であり、保護者は74.7%であった。また、「遅刻をしないよう心がけている」と回答した生徒は72.8%である。

「本校は、遅刻指導をしっかりと行っている」と回答した職員の割合は87.1%、保護者は83.2%である。また、「遅刻をしないよう心がけている」と回答した生徒は78.3%である。1学期の遅刻の回数のトータルは2866回（1年生449、2年生1152、3年生1265）、2学期に入ってから2学期の中間までの約2ヶ月弱の期間では2848回（1年生710、2年生842、3年生1296）と、ほぼ1学期のトータルに並んでしまっている。遅刻をする生徒は固定化しつつある。遅刻をしないよう心がけていると回答しなかった約20%の生徒を、家庭と連携しながら、どうにか改善させたい。

本校で行っているルール・マナーを守る指導、整容指導、遅刻指導については、保護者の理解が得られている結果がでている。しかし、保護者から出された貴重なご意見にしっかりと耳を傾けながら、今後の生徒指導を展開していきたい。

##### (2) 保護者と連携した指導

サポーター制度を導入したことにより、多くの保護者に協力いただき、職員と連携した登下校指導を行った。授業のようすや登下校の状況を保護者にみてもらうことは、とても重要なことである。

### (3) 教育相談体制の充実

教育相談（生徒理解）の研修会を充実させるとともに、定期的な個人面談の実施と、スクールカウンセラー、養護教諭、学級担任等、連携した教育相談体制の充実を図った。

「本校は、生徒が相談しやすい雰囲気がある」と回答した職員の割合は、昨年度と比べ 11.2 ポイント減少し 71.0%であった。また、保護者は昨年度とほとんど変化はなく 61.4%であった。「困ったときに相談できる先生がいる」と回答した生徒は 38.0%にとどまっている。職員と生徒の感じ方に大きな開きがみられる。

「本校の職員は、生徒一人一人をよく理解するよう努めている」と回答した職員、生徒、保護者の割合はそれぞれ、93.4%、36.5%、69.1%であり、職員と生徒で感じ方に大きな開きがみられる。

#### (保護者の感想)

- ・日ごろ先生方には大変お世話になっています。制服に関して困ったことがあります。夏休み中、ずっと部活に登校していたので、クリーニングにだすことができず（自宅で洗ってしまいました）、困りました。自宅で洗える制服だと大変助かります。（制服に限らず柔道着なども）。もう 1 点、購買で買える昼食ですが、もう少し購入できる食品が充実していると、毎日お弁当をつくっているのでも、気分的にも楽になり、つくれなかったときも安心できると思います。（1年）
- ・あまり学校に行くことがないので、先生のことや、授業のことなど、正直言ってわかりません。先生たちがどのくらい、服装・頭髪、生活指導をしているか、実際、まわりに遅刻や早退などたくさんしている子どもの話を聞くと、不安になります。もっと保護者とも密にして、厳しくするべきではないかと思うことがあります。（1年）
- ・普通科の生徒の服装・態度を厳しく指導せず、福祉科には厳しくても、全体としてできていなければ、向陽の生徒として評価されるので、同じように指導してほしい。電車運行状況で遅刻が認められるのに、バスの出発時間が遅れてしまった結果、学校に遅刻したのに、なぜ、電車と同じように認めてもらえず、遅刻になるのかを説明していただきたい。生徒に何も責任がないのに、一方的にダメだと受け付けられないのは、理解できません。欠席、遅刻、早退しないように、体調を無理してでも登校していたのに、これから、またバスの責任で遅刻になると思うと不安です。何とかしていただきたい。（1年）
- ・1年生なのでまだよくわかりません。2学期より服装が乱れると聞いています。残念です。（1年）
- ・服装、頭髪がしっかりとしている生徒に対して厳しいが、しっかりとしていない生徒に対する指導はどうか。もっと厳しく指導してほしい。（2年）
- ・下校指導などに参加させていただき、先生方の生徒への指導などを見せていただくと、頭の下がる思いがいたします。生徒に先生方の思いが伝わっていないのは残念ですが。（2年）
- ・整容指導を定期的に行っていただき、それに関してはよいと思いますが、学年、クラス、あるいは検査する教員によって基準が一定でない気がします。もちろん家庭での教育が一番だとは思いますが、子どもがルールを守る大切さを納得しなければ、逆効果になるのではないかと感じます。
- ・向陽高校は、環境もよく、校舎内もきれいで、とても心地よい雰囲気があります。そこで、ルール・マナーを守らない生徒がいるのは、なんだかもったいない気がします。とはいえ、公立は自由なイメージがありますからね。でも、あいさつをすることを一人一人が心がけることで（挨拶の徹底）、もっと学校のイメージがよくなるのではないのでしょうか。福祉教養科だけでなく、普通科にもきびしくしていただきたいです。福祉科だからわかるでしょ、福祉科ならできるでしょ、は福祉科の生徒にもストレスがたまってしまうと思います。（2年）
- ・同じレベルの他校に比べると、服装や常識の指導をきちんとしてくださっていると思う。（3年）
- ・指導をもう少しきびしくしてよいと思います。（3年）
- ・学校近くに住んでいる知人が、生徒が広がって歩いていたりして、歩きにくいと聞きました。また、以前、秋山駅のロータリーのバス停前の地面に座ってお弁当を食べている生徒（女子）を見ました。常識について、学校からも指導していただければと思います。（3年）
- ・特に期待はしません。卒業できればいいです。成績悪ければ退学しろ、素行が悪ければ退学しろとしか言わない学校に期待はしません。早く卒業式が来るのを期待しています。（3年）
- ・独断的にものをいう教師が何人かいると聞いたことがあるので、父兄や子どもたちの発言をちゃんと受け止めてから、発言していただきたい。（3年）
- ・どこのお寺かと思えます。指導方法が理解しにくい上に、思い込みが激しいようですね。（2年）

## IV キャリア教育

### 1 重点目標

(1) 組織的・計画的な進路指導（みえる進路、あきらめない進路）

### 2 自己評価

(1) 組織的・計画的な進路指導

3年間を見通した進路計画を立て、それにしたがって、学年別に進路説明会等を行っている。

「生徒は、進路実現のために努力している」と回答した職員は、昨年度と比べ、11.1ポイント減少し21.0%であった。保護者は5.3ポイント増加し61.5%、生徒は8.7ポイント増加し58.1%である。学年別にみると、努力していると回答した1年生は57.7%、2年生は47.6%、3年生は70.5%、また学科別みると、普通科生徒は56.3%、福祉教養科は68.4%である。

2年生が低い割合となっていること、また福祉教養科生徒の方が高くなっていることは、昨年度も同様であった。

(主な進路行事)

1年生	2年生	3年生
04/19～ 基礎カトレーニング開始 04/27 進路のしおり読み合わせ	04/11 進路適性検査 04/19～ 基礎カトレーニング開始 04/27 進路のしおり読み合わせ 05/24 科目選択説明会	04/11 進路ガイダンス 04/17～ 就職希望者向け補習開始 04/19～ 基礎カトレーニング開始 04/27 進路ガイダンス① 05/11 進路ガイダンス②
06/21 進路講演会 夏休み 仕事調査 09/04 基礎カ診断テスト 10/11 進路ガイダンス	06/21 進路講演会 夏休み インターンシップ (希望者) 09/04 基礎カ診断テスト 11/22 進路ガイダンス 01/ 進路ガイダンス (バス見学)	06/12～ 模擬面接 (就職希望者) 06/28 進路ガイダンス③ 07/21～ 08/20～ 就職指導週間 09/06 進路ガイダンス④ 10/12～ 模擬面接 (進学者向け)
02・ 漢字検定 (全員) 03/ 進路ガイダンス	02/ 漢字検定 (全員)	

(2) 保護者に対する説明

ホームページ等を活用し、本校の進路指導のようすを知らしめているところである。

「本校の進路指導は充実している」と回答した保護者の割合は66.7%であり、昨年と比べ、2.3ポイント増加している。生徒については、9.4ポイント増加したものの、45.6%にとどまっている。職員は88.8%であり、生徒の感じ方と大きな開きがみられる。

(保護者の感想)

- ・ 去年の夏頃から、自分の将来目指す場所がぼんやりありますが、見つけられたようで、本人もそれに向け、気を引き締めて3年間過ごす決意を固めた様子です。私もそのことがとてもうれしいのです。どうか迷えるときは、助けてやってください。よろしく願います。(1年)
- ・ 進路の方向性が決められているような気がするので、幅広く指導してほしい。(2年)
- ・ 検定試験の情報がほしいです。(英検、パソコンetc)(1年)
- ・ 英検、漢検のお手紙をいただきたい。子どもに聞くと、学校で何もしていないと言われてしまい、対策(受験)することができません。お手紙をいただくと、子どもと話ができます。1年生でも進路対策の案内をもっと積極的に行ってほしいです。(1年)

V 特色ある教育活動

1 重点目標

- (1) ボランティア活動を推進し、教育活動全般をととして、生徒の福祉マインドを育成する。
- (2) 福祉教養科の教育内容の充実、国家試験の合格率向上、積極的な情報発信。

2 自己評価

(1) 福祉マインドの育成

昨年9月に立ち上がったボランティアセンターが機能し、ボランティア部、JRC部が活性化している。月1回、みかん通信を全生徒に配付し、ボランティア活動を案内している。もともと福祉教養科生徒はボランティア活動に前向きであるが、普通科生徒も積極的にボランティア活動に参加するようになりつつある。

昨年度の絵本研究部のコミュニティ賞に続き、ボランティア部の活動がボランティア・スピリット賞(アワード)のブロック賞を受賞した。

(ボランティア・スピリット賞)

ボランティア・スピリット賞は、ボランティア活動の表彰・情報の交換・発信の3つの柱で中学生・高校生が行っているボランティア・スピリットを応援してくれるものです。

昨年度に続き、2年次の家庭科の授業で「赤ちゃんとのふれあい体験授業」を実施した。生徒の取組もよく、参加した赤ちゃんの保護者の感想も「やってよかった」というものがほとんどである。異年齢交流をすることで、命の大切さを体感し、将来的な親力向上につながる。そして、それはそのまま福祉マインドの育成につながっているものと考えられる。

今後も魅力ある行事を企画し、実施していく。

## (2) 福祉教養科の充実

教育内容を充実させ、モチベーションを維持させる工夫をしながら、長期休業中の対策授業、対策模試の受験（年4回）を行うことにより、平成23年度の介護福祉士国家試験の合格率は86.5%と好成績を修めることができた。平成24年度もさらに合格率が上がるよう、始業前朝学習等を実施している。

また、介護福祉士を目指す本校教育の現状の理解を得るため、授業や介護実習報告会等を広く公開し、積極的な情報発信に努めている。

3年間で60日を超す介護実習がスムーズに行われることを目的として、地域の施設の担当者を招き、介護実習についての綿密な打合せを行った。

定期的な学科集会や介護実習報告会、福祉教養科全生徒が活動する場面を設定することにより、よき伝統を引き継ぐとともに、学年の枠を越えた絆をつくっている。

福祉教養科全学年生徒保護者に対して、保護者会を行うことにより、教育活動について説明し、理解と協力を得ながら、連携して生徒を育てている。

福祉教養科生徒は、産業教育フェア、こども祭り、体験入学等で、一般の方や中学生の、車いす試乗体験や点字体験を手伝っている。

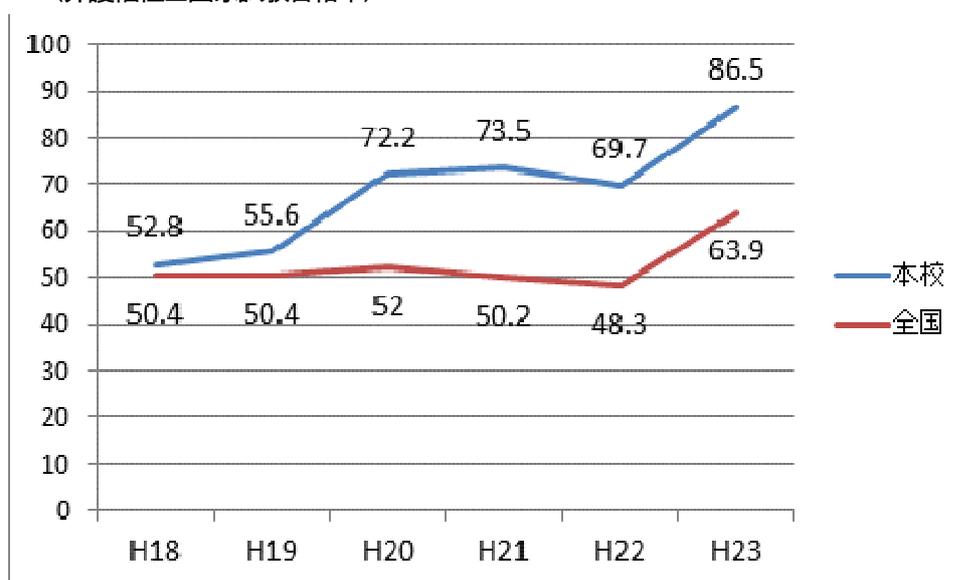
特別支援学校に在籍する障害のある児童生徒と年に数回交流の場をもっている。この活動が、平成24年度のライトブルー少年賞の受賞することとなった。

（ライトブルー少年賞について）千葉県教育委員会ホームページより

郷土千葉県の新しい次代を担う、心豊かなたくましい青少年を育成することは、県民すべての願いであり、責務であります。

この賞は、善意や親切心に基づく青少年の善行を顕彰し、あわせてその気運を全県に広めていこうとするものです。未来に明るい希望をもって努力する千葉県の青少年の姿と三方を青い海に囲まれた千葉県を象徴して、この賞をライトブルー少年賞と名づけました。

（介護福祉士国家試験合格率）



## (3) 地域と歩む学校

夏休み中に、県立学校開放講座「親子であそぼう」を実施した。近隣に住む24名の親子に、1日目は「パンづくり」、2日目は「絵本の読み聞かせ」、3日目は「おもしろ理科実験」を行った。そのときのようすや感想等は、本校ホームページ「学校評価」ページに掲載してあるが、参加者全員が、次回も参加したいと回答してくれている。

本校の図書委員及び司書が東部小学校に出向き、児童や保護者に対して、研修会等を行うなど、絵本の読み聞かせについてのよさを伝えた。